

「新しい生活様式」を心がけ
感染拡大を防ごう

新型コロナウイルス感染症防止に配慮して、本学習は風通しを良くした体育館で行われ、児童同士は離れて座り、講師も児童と距離をとって説明を行いました。学習後に児童が書いた感想文を見てみると、ウイルスへの知識を深め、「新しい生活様式」に対しての意識も高まっていることが伺えました。

新型コロナウイルスに対する有効なワクチンや治療薬などが開発されるまでの間、私たちは「新型コロナウイルスが存在する社会で暮らす」こととなります。一人一人の日常生活における「新しい生活様式」の心がけによって、ウイルスの感染拡大を防ぐことが大切です。皆さまのご理解とご協力をお願いします。



市内の学校では、
様々な感染症対策に
取り組んでいます



国東市教育委員会
教育総務課 保健師
井上 史乃

臨時休業の影響で夏休みを短縮し、暑さの厳しい時期に授業を行うことになりました。ウイルス対策には換気も必要ですので、教室のエアコン利用と換気を併用しながら、ウイルス対策と暑さ対策を行っています。

「新しい生活様式」の公表に伴い、学校で児童生徒が安心して学校生活を過ごせるよう、市では次のような対策に取り組んでいます。



1 毎朝の健康チェック

毎朝、自宅で検温やかぜ等の症状がないか確認してもらい、健康観察表に記録。そこで何らかの症状がある場合は学校と相談し、場合によっては自宅での療養をお願いしています。健康観察表は学校でも確認しています。

2 手洗いや咳エチケットの徹底

こまめな手洗いとマスク着用を徹底し、ハンカチやマスクは毎日清潔なものを持参してもらうよう保護者に呼びかけています。

3 学校施設の消毒

手すり、ドアノブ、電気のスイッチなど、多くの人が触れる所は毎日消毒しています。

熱中症にも
気をつけましょう

これから、熱中症に注意が必要な季節になります。「新しい生活様式」における熱中症予防のポイントをご紹介しますので、参考にしてください。

1 暑さを避ける

換気を確認しつつ、エアコンの温度をこまめに調整

2 適宜マスクを外す

屋外で人と十分な距離(2メートル以上)を確保できる場合は、マスクを外す

3 こまめに水分補給

のどが渇く前に水分補給(1日あたり1.2リットルが目安)

4 暑さに備えた体づくり

水分補給を忘れずに、無理のない範囲で運動する
「やや暑い環境」で「ややきつい」と感じる強度で毎日30分程度行う

熱中症一時休憩所を市内11か所(市役所本庁・支所、図書館、アストくにさきなど)に設置しています。休憩所の入り口には目印になるのぼりを掲げています。休憩の際にご活用ください。



こののぼりが目印



国東市医療保健課
保健師
荒金 満里恵

〈国東小・児童の感想〉



1年生
朝倉 祥くん

歌を歌いながら手洗いをし、楽しかったです。家で、毎日手洗いをします。毎日、学校に行く時は、マスクを着けます。食べる前にも、必ず手を洗います。



6年生
瀬田 夏未さん

手についたウイルスが目・鼻・口から体に入らないようにするため、無意識に顔に触らないようにすることが大事だとわかりました。毎日マスクを着けているので、熱中症にも注意したいです。



6年生
金田 瑠依さん

手を洗わなかったら、約100万個も手にウイルスがついていると聞いて、驚きました。これから手を洗う時は、ウイルスをちゃんと減らせるよう、洗う時間と洗い方にも気を付けようと思います。